

北斗通信

エバーオンワード(限りなき前進)

藤岡市立北中学校校長室通信

平成22年5月28日(金)

NO12(通算74)

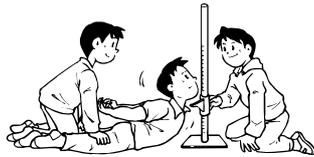
教育目標を考える⑤ 経営の基本方針

「生きる力」の育成を目指して

「教育目標を考える①～④」で述べてきたことは、次の学校経営の基本方針から出発している事柄です。

○ 地域や保護者の願いを受け止め、「生きる力を」身に付けた生徒を育成する

「生きる力」とは、・知識や技能を身につけ、活用する力 ・学ぶことへのやる気、意欲 ・自分で考える力 ・自分で判断する力 ・自分を表現する力 ・問題を解決し、自分で道を切り開いていく力 ・自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心 ・たくましく生きるための健康や体力、と言われていています。学習面での力だけではなく、豊かな人間性(道徳性)や全ての土台としての体力が大切であるということです。



○ 全職員が豊かな人間性を磨き、実践的な指導力、使命感を持ち、創意工夫を生かして学校経営に参画し活性化に努める

前号で示した目指す教師像そのままです。「教育は人なり」という言葉があります。まさにこの言葉を肝に銘じ、研究と修養に努め、そこから得たものを子供たちに還元していきたいと思えます。

「教育目標を考える」を5回にわたって掲載してきました。ご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。



友だちや友情に関することわざや格言などはあげたらきりがありません。

「竹馬の友」はよく聞く言葉ですが、残念ながら最近では外で遊ぶことが少なく死語になりつつあるとのこと。「友は第2の自己である」「友は喜びを2倍に、悲しみを半分にする」「人生より友情を除くは、世界より太陽を除くに等しい」などは、友が如何に大切かを説いています。同様の意味で、「朋友は六親に叶う」や「管鮑の交わり」などがあり

ります。

「山から遠ざかればますますその本当の姿を見ることが出来る。友人にしてもこれと同じである」「困難な情勢になってはじめて、誰が敵か、誰が本当の味方だったかわかる」や友を選ぶときの注意が込められた「朱に交われば赤くなる」「善人の敵となるも、悪人の友となるなかれ」などは、とても意味深いものです。



最後に「益者三友 損者三友」という言葉を紹介します。付き合っって有益な人と損になる人がそれぞれ3種類いるということです。「益」となる人は、正直な人、誠実な人、博学な人、「損」となるのは、体裁をつくらう人、当たり障りのない不誠実な人、口先だけの人なんだそうです。友を作るのも難しいですね。でも大切な存在です。



北中恒例のPTAバザーですが、校舎の大規模改修工事に伴い、スイカ、メロンの販売のみになりました。毎年多くの皆さまのご協力を得て、盛大に実施されていましたが、とても残念です。

できればその分もスイカ、メロンの販売でまかないたいと考えております。収益金は生徒たちの教育活動に活用されています。ぜひ多くの購入をお願いいたします。

五月二十九日という日
与謝野晶子死去(一九四二)
歌人晶子は、一九〇四年日露戦争
が起り、弟が戦地に行くことになり、
「君死にたもうことなかれ」という
詩を作りました。
ああおとうとよ 君を泣く
君死にたもうことなかれ
末に生まれし君ならば
親のなさはまさらとも
親は刃をにぎらせて
人を殺せとおしえしや
人を殺して死ねよとて
二十四までそだてしや(以下略)
この詩を書いたことで、非難され、
家に石を投げられたり、野の花や
虫を取ろうとした我が子にこう教え
たそうです。
「かわいそうだから取るのはよしま
しょう。」
「摘めばすぐしおれてしま
うぞ。」
全文を呼んでみてください。